

1989年早稲田大学大学院卒業

早稲田大学助手、宇都宮大学助手、助教授、教授、マサチューセッツ工科大学 (MIT) 研究員などを経て、現在は早稲田大学教授博士 (工学)、技術士 (建設部門)

日本都市計画学会 常務理事 日本交通政策研究会 常務理事

国際交通安全学会研究調査委員長

栃木県都市計画審議会会長 静岡県都市計画審議会会長 東京都大店立地審議会委員 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会会長 など 我が国は著しい人口減少社会にあります。 今後の人口減少社会に対応するために、 魅力的で、人や環境にやさしい持続可能な 都市構造への転換が求められています。

ここでは、持続可能な都市としてのコンパクトシティと、それを支える次世代交通 (次世代路面電車(LRT)や自動運転など) の役割について解説いたします。 また、ICTなどの科学技術を上手に活用した スマートシティとの連携について、 今後の課題や展望をお話しします。

- 交通まちづくり 地方都市からの挑戦 / 鹿島出版会(2015)
- Traffic and Safety Sciences: Interdisciplinary Wisdom of IATSS, (2015)
- 人口減少時代における地域公共交通のあり方 / 日本都市センター(2015)
- ■都市のクオリティ・ストック-土地利用・緑地・交通の統合戦略/鹿島出版会(2009) など